

札幌市 藻岩山 もいわやま	標高 530.9 m
登り	1:40
山頂	0:30
下り	0:50
3:00	

△△ 藻岩山〔慈恵会病院コース〕
4月30日晴れ気温17度、GW前半はとても良い天気恵まれてスキノのネオンに惑わされることなく早寝早起きしたメタボ隊員は札幌のランドマーク「藻岩山」に向かいました。

高級感漂う住宅が建ち並ぶ旭ヶ丘の慈恵会病院入口を目指し行楽地へ向かう車の流れに逆らいながら進むと、巷ではまだ朝ごはんの時間だと言うのに30台ほどの公設駐車場は既に満車で運良く早朝組が帰り空いたところに入ることが出来ましたが、この時間に帰るとは何時に来たのだろうといらぬ詮索をしながら準備をしていると早くも額から汗が流れ、この時期のオホーツク標準では暑過ぎ衣替にもたつく間に次々に人と車が押し寄せ、田舎の初詣かと思うにぎわいに「登山ブーム」を実感しつつお地藏様に手を合わせてから登りはじめます。

山道にはキバナノアマナやエゾエンゴサク、向では見られないコジマエンレイソウなどが目を楽しませてくれ20分ほどで市街地を見下ろす尾根の広場に出るとコンクリート塊が点在、戦後米軍が進駐しスキー場としてリフトを設置したらしくその残骸とこのこと、なぜか持参した地図には砲台跡と書かれていましたがどちらにしても悲しい歴史の一端です。

白く輝く平和の塔と運休中のロープウェイを左手に見ながら先に進み雪の残る谷間に入るとヒンヤリとした冷気が心地よく自然にペースが上がりますがそれも束の間、尾根が迫り傾斜が増すと途端にいつものカメ歩きにシフトダウン、ノロノロと登り切ると「馬の背」の分岐に出て左に進むと山頂ですがちょっと寄り道し右手のコブに向かいます。

木々の間から札幌岳や砥石山を眺めながら進んで行くと札幌市の西側の展望が広がり、足元に円錐形の円山が見えて山道は旭山記念公園へと続きますが道端の三角点から山頂へと折り返します。

途中目を引くのは風で倒れた木々が山肌を覆う痛ましい姿、かなり年数が経っているようで手を加えずそのままナースログにするのでしょうか。

先ほど登ってきた慈恵会病院への分岐を過ぎると右手から北ノ沢コースが合流、しばらく歩きやすい緩やかな尾根を進み、次第に傾斜が増してゴツゴツと歩きにくい天然の石畳が続きこれを登り切ると六角形の観音堂と巨大な鉄塔のある山頂に到着します。



普段は観光客に占拠される展望台は解体されフェンスに囲まれた中では新たな展望台の工事中で、自動車道も閉鎖されているため歩いて来た人だけが静かな山頂からの景色を楽しんでいました。

雪の白さが目立つ遠くの山々を見渡し長目の休憩をとって下り始める頃、麓からは老若男女に親子連れ、若いカップルの列が続き狭い場所ではしばし渋滞、鼻ピアスにジャラジャラ飾りを着けた茶髪人も体を揺すりながら順番待ちしていましたが、すれ違いざま「ありがとうございます」と気持ちの良い声を掛けられ見た目で勝手に挨拶などしないだろうと決め付けていた自分が恥ずかしく「がんばって」と背中にお返しの一言。

マナーの良い若者を見た後に凄まじい勢いでストックを振り我先に下るオバチャン族にはため息をつきたくなる光景でした。

藻岩山には今回の慈恵会病院コースの他にも数本のルートがあり冬場も登れるようなので季節毎にいろいろな景色や花、人種が楽しめそうです。

